

審査員長よりコメント

審査員長を務めた森ミドリさんから下記のコメントをいただいています。

【森ミドリ審査委員長の総評】

今年も大勢の方からご応募いただき、心よりお礼申し上げます。

改めて辞書で川柳を調べましたら - 簡潔、滑稽、機知、風刺、奇警が特色 - とありました。本当にあったことであれ、想像の世界であれ、俳句と異なり、ほとんど制約がないので、初めての方でも、スーッと入っていけるのが嬉しいですね。まさしく、川柳は千流。来年も、フフッと笑える作品をお待ちしております。

そうだわ。ステキな発想を得るために、帝国ホテルアーケードのマユヤマジュエラーさんを覗いてみるのも一つの手かもしれませんよ。1階からトントンと階段を下りて、そう、その角の...

【上位入賞者へのコメント】

まずは伊藤慎也さま、金賞おめでとうございます。

必死になってはずそうとして力を入れ、顔を膨らませる...けれど、これがナカナカ抜けない。こうなると、プフフと笑ってしまう...いえ、笑うしかないのですね。

かなり以前、私も「10分間だけ離婚」というエッセイを何かに書いたことがあります。こんな瞬間が、意外にも次の幸せをもたらしてくれるのかもしれない。

—(いっ)瞬芸のような川柳に、乾杯！

次に滝澤有咲さま、銀賞おめでとうございます。

そう。一步外へ出れば、誰に会うかわかりません。見られる、と言うことがその人を良い意味で緊張させ、美しくさせるのではないかしら？

たった何十メートルの往復であれ、その意識はとても大切ですし、見習いたいな、と。

ぜひ、副賞のピンクサファイア・ダイヤモンドペンダントを、おばあちゃまの胸に！

そして森崎重夫さま、銅賞おめでとうございます。

「ミドリさん、男はね、女性に宝石を買い与えるために働くんだよ」

と真顔で言われた方がいて、目を丸くしたことがあります。あまりにもかっこいい響きに、その夜、その言葉を煎じて夫に飲ませようとしたのですが...

思えば、歴史上の人物の曾孫さんに当たる方でした。

スルー、スロー、もいっい響き。

次は、ストップしかありませんね！

皆様、どうかこれからも、夢と笑いに満ちた川柳的な日々をお送り下さいますよう。

森 ミドリ